

経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

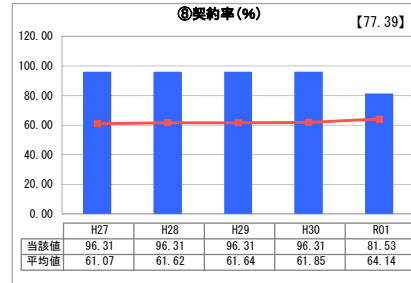
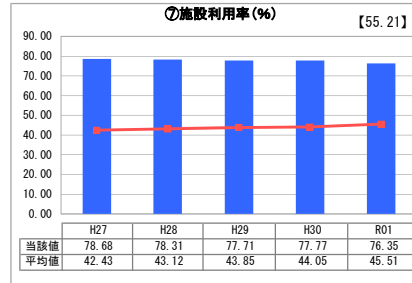
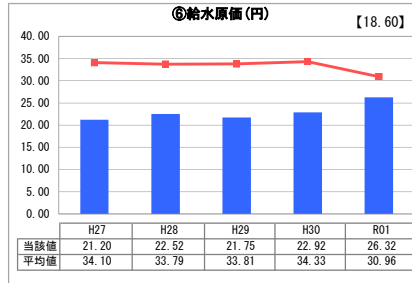
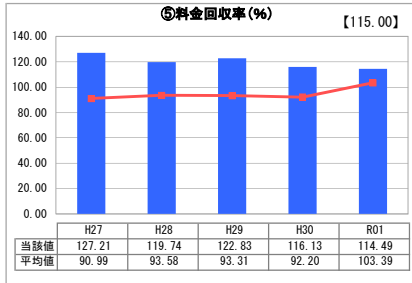
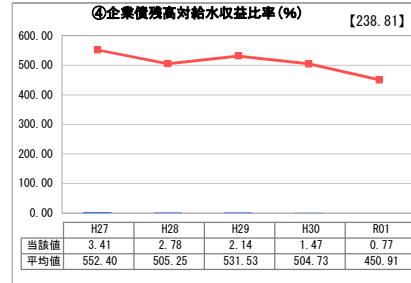
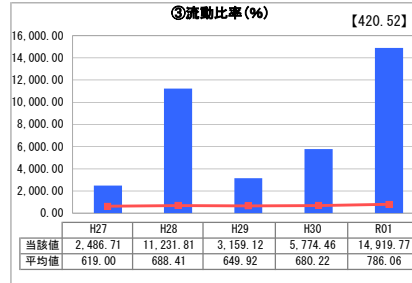
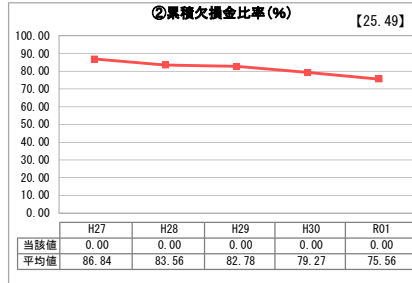
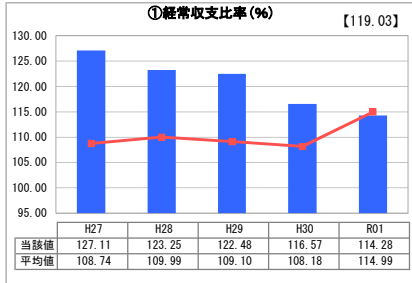
福島県 南相馬市
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	40,600	小規模	1	30,999
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	99.2	7	33,100	非設置	

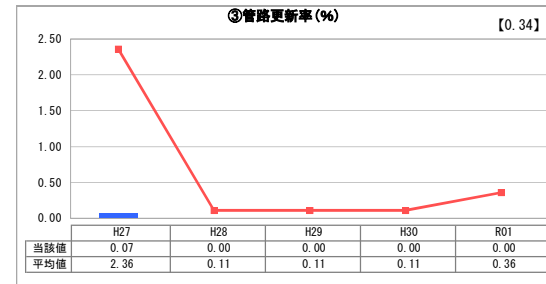
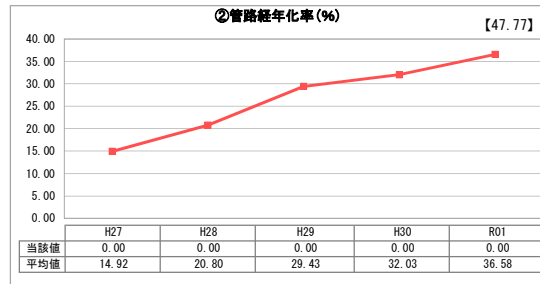
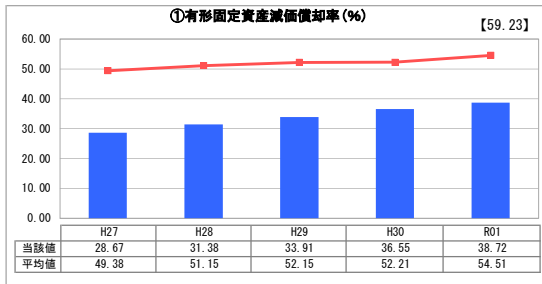
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 年々減少傾向にあるものの、継続的に100%を上回る黒字経営が続いている。R1年度は湯水対応による減免及び再生水廃止に伴い、給水収益が減収となり前年度比率を下回った。また、全国及び同規模類似団体（以下、類団）平均も下回った。

② 累積欠損金は、現時点で発生していない。

③ 毎年度100%を大きく超え、支払能力は十分備えている。

④ 全国及び類団平均より企業債務高対給水収益率が極端に少なく、減少傾向にある。他団体と比べて債務ははるかに軽いと言える。

⑤ 給水収益の減収により、前年度比1.64ポイント下回ったが、類団平均値は上回った。給水に係る費用は給水収益で賄っており、引き続き安定した料金収入の確保を目指す。

⑥ 類団平均では4.64ポイント下回っているが、全国平均では7.72ポイント上回っている。維持管理費の縮減や経常費用の見直し、投資の効率化を進める必要がある。

⑦ 全国及び類団平均値を大きく上回っており、今後ともほぼ横ばい状態が続くものと予測される。

⑧ H27年度から横ばい状態が続いていたが、R1年度は再生水廃止に伴い、前年度比14.78ポイント下回った。また、全国及び類団平均値は上回っている。今後は契約ユーザーに対し、給水の安定的な供給に努めていく。

2. 老朽化の状況について

① 全国及び類団平均値は下回っているが、比率は年々上昇傾向にあるため、H27年度に策定したアセットマネジメント計画等に基づき、財源確保や経営に与える影響等を考慮し、施設や管路の計画的な更新を実施する必要がある。

②③ 管路更新については布設年数が比較的新しいため、今後数年間は耐用年数を超える管路はない見込みである。将来的には、耐用年数に達し更新時期を迎える管路が増加すること等が考えられるため、事業費の平準化を図り、効率的な更新に取り組む。

全体総括

当市工業用水道事業の経営は、収益性も含めすべての項目において概ね良好と捉えている。

今後は、老朽施設や管路等の更新需要を賄えるだけの莫大な財源確保が喫緊の課題である。経営戦略やアセットマネジメント計画に基づき、中長期財政収支を見通した中で計画的に施設等を更新し、維持管理の効率化を一段と進めるとともに、災害に強いまちづくりを推進するため、施設等の長寿命化に取り組みながら、安全安心な工業用水の供給を安定的に努めていく。